

授業科目(ナンバリング)		茶道文化ⅡB(AB202)		担当教員	安部直樹 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
濃茶点前(後半)の習得を通して、もてなしについて考える力を培い、日常生活に必要な礼儀作法を身につけることを目的とする。また、オプション授業として、着付けや花生け、絵手紙のうちから選び、体験学習することで茶道の芸術性を理解する力を養う。							⑨⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	炉と風炉の炭点前の違いを説明することができる。					小テスト	10%
情報収集、分析力	体験学習をすることで茶道の芸術性を理解できる。禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。					オプションレポート 課題・レポート	10% 10%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。					授業態度	15%
多様性理解力	茶道実技の基礎である「濃茶点前」の流れを理解することができる。					点前確認	55%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
点前確認の成績を55%とし、濃茶点前の流れを理解しているかなどから評価する。なお、点前確認の範囲については、別途指示する。点前確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。授業態度については15%とし、濃茶点前を実践するなど、授業への積極的な参加から評価する。課題とレポートについては10%とし、ポートフォリオ(manaba)を利用して行い、回答例などをフィードバックする。小テストについては10%とし、11回目にポートフォリオを用いて行う。オプションレポートや茶会参加レポートはそれぞれ5%とし、レポート様式に別途ループリックを記載する。							
授 業 の 概 要							
点前については、柄杓や水次の扱い方を学び、濃茶点前を完成させることを目標とする。教材として、茶道文化研究所作成の動画を予習・復習に用いる。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,500円の諸経費が必要である。オプション授業では、着付け、花生け、絵手紙のうちから選び、体験学習を通して芸術を理解する。オプション授業代は、500円が別途必要である。カリキュラム上、茶道文化ⅡBを履修するためには、茶道文化ⅠA・ⅠB・ⅡAの単位を取得することが必須である。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 81～93 頁 参考書：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流 茶道点前』長崎短期大学特色GP関連事業(2007年) 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社(2011年) 指定図書：小山茂樹著『茶壺に追われて一ほっこり宇治茶にこぼればなし』淡交社(2009年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
- 茶室での貴重品の取り扱いとは自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 - 学習として、茶会と茶事の仕組みについて『観光の地平』を読み、理解しておくこと。 - 茶道に関する茶花・道具などにも関心を持ち、日常生活の中で活かす努力をして頂きたい。							

火3クラス、水1クラス、金1クラス、金3クラス

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	・濃茶点前（前半）復習	茶道文化ⅡAで学んだ濃茶点前（前半）を復習する。 (安部・柳井)	講義概要(シラバス)を確認する。 教科書 pp. 81～89 を読み、 予習・復習をする。
2	・濃茶点前（後半） (茶筌を洗うまで)	茶碗を洗い、茶筌を洒ところまでの流れを確認する。 (安部・柳井)	教科書 pp. 89～90 を読み、 予習・復習をする。
3	・濃茶点前（後半） (水指の蓋を閉めるまで)	水指の蓋を閉めるまでの流れを確認する。 (安部・柳井)	教科書 pp. 90～92 を読み、 予習・復習をする。
4	・濃茶点前（後半） (道具を持ち帰るまで)	道具の持ち帰り方を理解する。 (安部・柳井)	教科書 pp. 92～93 を読み、 予習・復習をする。
5	・濃茶点前稽古①	濃茶点前を確認する。 (柳井)	教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
6	・濃茶点前稽古②	濃茶点前を確認する。 (柳井)	教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
7	・濃茶点前稽古③	濃茶点前を確認する。 (柳井)	教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
8	・点前確認	濃茶点前についてどこまで理解しているか確認する。 (安部・柳井)	濃茶点前の完成を目指す。
9	・点前確認振り返り	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 (安部・柳井)	点前確認を振り返り、自己評価する。
10	・オプション授業	オプション方式で授業内容を選択する。着付け、花生け絵手紙の授業内容のうちから1つを選び、体験学習をする。 (安部・柳井)	予習・復習については授業内で指示する。
11	・炭点前(炉) ・小テスト	炭点前(炉)を確認し、概要を理解する。 (安部・柳井)	教科書 pp. 63～69 を読み 予習・復習する。
12	・濃茶点前総復習① ・お運び、客作法①	濃茶点前の総復習をする。 お菓子やお茶の出し方、お菓子の取り方、お茶の飲み方について学ぶ。 (柳井)	各役割(亭主、半東、接待、水屋、客)の動きについて予習・復習する。
13	・濃茶点前総復習② ・お運び、客作法②	濃茶点前の総復習をする。 お菓子やお茶の出し方、お菓子の取り方、お茶の飲み方について学ぶ。 (柳井)	各役割(亭主、半東、接待、水屋、客)の動きについて予習・復習する。
14	・初釜	新年を祝う初釜を実施する。日本の正月や初釜について学び、鎮信流の流儀の特長を示す床の飾り方や、古来松浦家の風習について理解を深める。 (安部・柳井)	祝儀袋のマナーを予習・復習する。
15	・松芳忌	学校法人九州文化学園の創設者である安部芳雄（松芳）先生の遺徳をしのぶ。 (安部・柳井)	教科書 pp. 7～12 を読み、 予習・復習する。 不祝儀袋のマナーを予習・復習する。

水3クラス

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	・濃茶点前（前半）復習	茶道文化ⅡAで学んだ濃茶点前（前半）を復習する。	講義概要（シラバス）を確認する。 教科書 pp. 81～89 を読み、予習・復習をする。
2	・濃茶点前（後半） （茶笥を洗うまで）	茶碗を洗い、茶笥を洒ところまでの流れを確認する。	教科書 pp. 89～90 を読み、予習・復習をする。
3	・濃茶点前（後半） （水指の蓋を閉めるまで）	水指の蓋を閉めるまでの流れを確認する。	教科書 pp. 90～92 を読み、予習・復習をする。
4	・濃茶点前（後半） （道具を持ち帰るまで）	道具の持ち帰り方を理解する。	教科書 pp. 92～93 を読み、予習・復習をする。
5	・濃茶点前稽古①	濃茶点前を確認する。	教科書 pp. 81～93 を読み、予習・復習をする。
6	・濃茶点前稽古②	濃茶点前を確認する。	教科書 pp. 81～93 を読み、予習・復習をする。
7	・濃茶点前稽古③	濃茶点前を確認する。	教科書 pp. 81～93 を読み、予習・復習をする。
8	・点前確認	濃茶点前についてどこまで理解しているか確認する。	濃茶点前の完成を目指す。
9	・点前確認振り返り	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。	点前確認を振り返り、自己評価する。
10	・オプション授業	オプション方式で授業内容を選択する。着付け、花生け絵手紙の授業内容のうちから1つを選び、体験学習をする。	予習・復習については授業内で指示する。
11	・炭点前(炉) ・小テスト	炭点前(炉)を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 63～69 を読み予習・復習する。
12	・濃茶点前総復習① ・お運び、客作法①	濃茶点前の総復習をする。 お菓子やお茶の出し方、お菓子の取り方、お茶の飲み方について学ぶ。	各役割（亭主、半東、接待、水屋、客）の動きについて予習・復習する。
13	・濃茶点前総復習② ・お運び、客作法②	濃茶点前の総復習をする。 お菓子やお茶の出し方、お菓子の取り方、お茶の飲み方について学ぶ。	各役割（亭主、半東、接待、水屋、客）の動きについて予習・復習する。
14	・初釜	新年を祝う初釜を実施する。日本の正月や初釜について学び、鎮信流の流儀の特長を示す床の飾り方や、古来松浦家の風習について理解を深める。	祝儀袋のマナーを予習・復習する。
15	・松芳忌	学校法人九州文化学園の創設者である安部芳雄（松芳）先生の遺徳をしのぶ。	教科書 pp. 7～12 を読み、予習・復習する。 不祝儀袋のマナーを予習・復習する。